

競技上の注意及び連絡事項

1. 適用ルールについて

この大会は、現行のラージボール卓球ルール第3章「競技大会ルール」を適用します。

2. 競技方法について

- ① 各種目とも11本3ゲームマッチとする。
- ② 各種目とも1グループ3・4組の予選リーグの後、1位・2位組による上位トーナメントと、3位以下の組による下位トーナメントに分かれて行う。
ただし参加数が16組未満の種目は上位、下位の区分をしない。
- ③ 参加数が8組未満の種目は、リーグ戦又はトーナメントとする。

3. ボール、ラケット、ラバーについて

- ① ボールは、Nittakuラージボール44プラ3スターcleanを使用する。
- ② ラケットの打球面には、表ソフトのサンドイッチラバーが握りの部分を除いてラケット全面に貼られていなければ使用できません。粒高ラバー、一枚ラバー等は使用できない。
またラケットの使用しない面であっても使用が禁止されているラバーを貼ることができない。
- ③ 外国製ラケットでJTAAの刻印のない物を使用する場合、試合前に審判長の許可を受けること。
- ④ ラケット交換の際は、相手競技者及び主審の手が触れないように注意して台上で見せ合ってください。

4. サービスについて

- ① 正しいサービス動作をすることは競技者の責務です。サービスが違反すれすれであれば、その競技者はフォルトになり相手に1ポイント与えられることがあります。
- ② サーバーはフリーハンドの手のひらを開き、自由に転がる状態でボールをのせ、2～3秒静止させてからサービスを開始してください。ただし遅延行為にならない様に注意してください。
- ③ サーバーは、ボールを16cm以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打つものとします。

5. 促進ルールについて

- ① ゲーム開始後8分経過した場合、あるいはその以前に双方から要請があった場合は、その時点から促進ルールが適用されます。ただし、8分経過した時点で、双方のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達した場合、そのゲームに対しての促進ルールは適用されません。
- ② 一旦促進ルールが適用されると、そのマッチが終了するまで促進ルールが適用されます。

6. 競技用の服装について

- ① 公益財団法人日本卓球協会が公認したブランドの半袖シャツ及びショーツ又はスカートのみを着用して下さい。また、それ以外にサポーター、リストバンド、ヘアバンド、スパッツも着用できます。
競技者はラージボール卓球ルール第3章「競技大会ルール」に定められた服装で競技してください。
- ② 主たる色、柄については、使用するボールの色と明らかに違う色でなければなりません。
疑義が生じた場合は試合開始前に審判長にお尋ねください。審判長の判断が最終結論となります。

7. バッドマナーについて

- ① 競技者(組)またはアドバイザーの行為で相手競技者に対して不当な影響を与えゲームの評判を落とすような癖や態度(大声で叫び汚い言葉を遣う、故意にボールを蹴ったり、無断でのラケット交換、競技役員の指示を無視するなど)がバッドマナーに含まれ、相手へのポイント、退場、失格などのペナルティが課せられます。

- ② 「スロープレー」はバッドマナーと判断されます。
ポイントが決定した後は、速やかに次のサービス又はレシーブの体勢を取り、競技のスピードアップを図ってください。
- ③ 試合開始に遅れたり、事情も無く相手選手を待たせることはバッドマナーと判断されることがあります。
プログラムや進行状況を確認して、試合開始予定時刻の5分前には競技領域前で待機してください。
なお、トーナメント開始に先立ち、選手集合コートを放送しますので聞き逃さないようご注意ください。

8. アドバイザー、帯同者、応援者の席について

フロアを全て競技領域として使用しますので帯同者、アドバイザーの席はありません。
当該ゲームに参加する選手以外は2階の観客席で観戦してください。

9. 練習時間について

- ① コロナウイルス感染拡大防止のため練習専用コートは、設置しません。
練習はマッチ開始前に3本ミス程度または1分以内で開始してください。
- ② ゲームの進行状況により途中から練習を1本ミスに制限することがあります。

10. トーナメント表の表記について

各グループの予選と予選後のトーナメントを同時に表していますので、ご注意ください。
トーナメント表に記載された略号は、次のことを表現しています。

- ① 各グループを太線で囲ってあるのが最初に行う予選です。
- ② 太線枠の上に記載されているのは、グループ名、予選開始時間と試合コートを表しています。
- ③ **第1G-1位**
予選の結果が第1グループで1位になった選手の出場位置です。
例えば「第2G-3位」とは、第2グループの3位者が出場する位置です。
- ④ **「6コート①」**
6コート第1試合の順番を表しています。
例えば「6コート②」とは、6コート第2試合を表しています。
- ⑤ **「101」、「201」・・・とは**
トーナメント各試合の番号です。
「101」とは1回戦の第1試合、「201」とは2回戦の1番という試合番号です。
詳細はタイムテーブルをご覧ください。
- ⑥ **「審判第1G-1位者」**は、第1グループの予選で1位になった選手が主審を務めてください。
「審判101敗者」は、試合番号101で敗者となった選手が次の試合の主審を務めてください。
この大会は、敗者審判になっていますので御理解と御協力をお願い致します。

11. 審判について

リーグ戦は相互審判、トーナメントの最初は指定された選手にお願いします。
次の試合からは、敗者審判を順次お願いします。

12. 対戦記録用紙への記入等について

- ① 各グループ①の選手は、グループの進行をお願いします。
- ② 添付されている記入例を参考に1ゲーム毎にポイントを正確に記入してください。
なお、対戦記録用紙下欄に全てのポイントを、上欄に2-1等の結果を記入してください。
- ③ 3者以上が同点の場合は対象者間の「勝ちゲーム÷負けゲーム」で大きい方を勝ちとします。
- ④ それも同じ場合は、対象者間の「得点÷失点」で大きい方を勝ちとします。
- ⑤ 上記の全てが同じ場合は、抽選とします。
- ⑥ 各グループ①の選手は、グループの試合が終了したら全員で結果の確認をしてサインをもらってください。
- ⑦ グループ①の選手は、確認の終わった対戦記録用紙を本部の進行席に届けてください。
- ⑧ トーナメントに入ると対戦記録用紙への記入はありません。
各種目の進行責任者の指示にしたがってゲームを進めてください。

13. 選手の呼び出しについて

- ① トーナメント開始に先立ち、選手集合コートを放送しますので聞き逃さないようご注意ください。
- ② 各選手はタイムテーブルに記載された試合コートに少なくとも5分前までに集合し、進行委員の確認を受けてください。
- ③ 試合進行上、コート、競技開始時刻を変更する場合があります。
場内放送にご注意ください。

14. 表彰について

本大会における表彰対象は、次のとおりです。

種目別表彰一覧

	種目	参加組数	上位入賞			下位入賞	
			1位	2位	3位	1位	2位
混合ダブルス	一般	11	1	1	2		
	120	10	1	1	2		
	130	21	1	1	2	1	1
	140	23	1	1	2	1	1
	150	18	1	1	2	1	1
	160	5	1	1	0		
	170	1	1				
	計	89	7	6	10	3	3
男子ダブルス	一般	6	1	1			
	120	3	1				
	130	12	1	1	2		
	140	13	1	1	2		
	150	7	1	1			
	160	4	1				
	170	0	0				
	計	45	6	4	4		
女子ダブルス	一般	2	1				
	120	3	1				
	130	12	1	1	2		
	140	11	1	1	2		
	150	10	1	1	2		
	160	3	1				
	170	0	0				
	計	41	6	3	6		

15. その他

- ① 「報道者」と許可された者以外は、フロア内での撮影はできません。
競技領域が狭いことから1Fでのビデオ、写真撮影を禁止します。
- ② フラッシュ撮影は競技者の妨げになりますのでご注意ください。
なお、注意を受け入れられない場合は大会が終了するまでカメラを預からせていただきます。
- ③ アリーナ内での携帯電話使用は、禁止です。電源を切るかマナーモードに設定してください。